

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



2 健康を
支えよう



8 働きがいも
経済成長も



IoT利用による家畜飼育アシストシステムの開発

畜産において 消費者志向に合致した安全・安心な畜産物生産
家畜の快適性に配慮した飼養
衛生的な飼育環境の整備とその作業の負担軽減
といった点を意識した管理技術の高度化が課題です

そこで我々は「画像からの個体情報をベースにした適切な飼養」
「飼養管理での最適な作業方法や作業の負担軽減」
に関する技術開発に取り組んでいます



RFIDによる個体識別



データ取得自走ロボット



サーマルカメラとAI
による
物体認識

- もののインターネット「IoT」と人工知能「AI」を融合活用して
- 家畜の成育・健康状態のリアルタイム監視管理
 - ロボティクスの技術導入による効率的飼育管理 への展開

コンピュータを目や脳として適切な判断と予測を行う次世代型の本システムの開発は、畜産での課題を解決し、質の高い、信頼性のある技術の創造につながり、新たな価値を生み出すことに寄与します。

【担当】

名前：堀口 健一

専門分野：家畜管理学

連絡先：horiguti@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp